

国営木曽三川公園整備・管理運営プログラム（案） に関する意見募集の結果について

令和3年6月18日

1. 意見募集の趣旨

国営木曽三川公園整備・管理運営プログラム（案）（令和3年度～令和7年度）について、広く一般から意見を募集してプログラムに反映させるとともに、今後の公園計画に活かしていくことを目的として実施しました。

2. 意見募集の期間

3週間：令和3年5月14日（金）～令和3年6月3日（木）

3. 意見募集の方法

「国営木曽三川公園整備・管理運営プログラム（案）」に関する「ご意見募集のお知らせ」として、国土交通省中部地方整備局、木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所のホームページ、及び国営木曽三川公園内へ意見募集ポスターを掲載し、ご意見を回答フォームならびにFAXで受け付けました。

4. 提出された意見の総数

期間中に4件の意見を頂きました。

意見募集の結果

1. 応募状況

回答フォーム・FAX をあわせ、4件の貴重なご意見をいただきました。国営木曽三川公園を日頃からご利用いただいている、愛知県及び岐阜県の方からご意見をいただきました。

■回収方法

	件数	%
ファックス	0	0.0%
回答フォーム	4	100.0%
計	4	100.0%

■回答者の性別

	件数	%
男性	2	50.0%
女性	2	50.0%
計	4	100.0%

■回答者の年齢層

	件数	%
20歳未満	1	25.0%
20代	1	25.0%
30代	0	0.0%
40代	1	25.0%
50代	0	0.0%
60代	1	25.0%
70歳以上	0	0.0%
計	4	100.0%

■回答者の居住地

	件数	%
愛知県	3	75.0%
岐阜県	1	25.0%
三重県	0	0.0%
計	4	100.0%

■回答者の来園頻度

	件数	%
月に1回以上	1	25.0%
年に数回程度	1	25.0%
年に1回程度	1	25.0%
数年に1回程度	1	25.0%
1度も利用したことがない	0	0.0%
計	4	100.0%

2. 総合評価

国営木曽三川公園整備プログラム（案）の全体については、75%の方から「良い」という肯定的な評価をいただきました。

■総合評価

	件数	%
大変良い	0	0.0%
良い	3	75.0%
普通	1	25.0%
あまり良くない	0	0.0%
良くない	0	0.0%
計	4	100.0%

3. 自由意見

自由記述式の質問へのご意見、およびご意見に対する国営木曾三川公園としての考え方を以下のとおりまとめました。

分類	ご意見要旨	国営木曾三川公園の考え方
公園の整備や管理運営に関するご意見	<p>「歴史文化資源をいかします」とありますが、木曾川が担った役割として「水運」があります。特に木曾のヒノキなど。これを省略してはいけません。また、現在の犬山頭首工地点から合瀬川などを経由して名古屋場周辺へ資材運搬したことも必要です。</p>	<p>木曾川が担った役割として「水運（舟運）」は木曾三川固有の歴史・文化の中でも重要と考えており、プログラムのP6における重点事項の②として「水郷の暮らしや、かつての街道や舟運の交通結節点といった、木曾三川固有の歴史・文化資源をいかし、個性的で魅力あふれる拠点の整備・管理運営を進める」という方針を記載しております。</p> <p>今後も「水運（舟運）」など地域の歴史文化を学習できる機会の充実などをはかっています。</p>
	<p>国営木曾三川公園がいくつかあることがわかりました。それぞれの公園を行き来できる仕組みができるとよりよくなると思いました。</p>	<p>「広い範囲に拠点が存在する特色をいかし、ひとつの公園として、より高い効果を発揮するため、拠点間を結ぶネットワークの整備や複数の拠点が連携した取り組みを推進する」という方針をプログラムP6の重点事項③に記載しております。</p> <p>普段行かれている拠点以外の公園にもぜひ足を運んでいただければと考えます。</p>
	<p>138 パークや河川環境楽園は小学生時代に家族とよく行きました。最近彼女は彼女とデートに利用しています。コロナでも楽しめる企画をお願いします。</p>	<p>新型コロナウイルスへの感染予防対策として、三密対策、除菌・検温機器の設置、園内施設の消毒や利用者への注意喚起を実施するなど、安心してご利用頂ける公園の管理運営を推進してまいります。</p> <p>また、コロナ禍でも楽しんでいただけるようなイベント企画や展示内容の工夫などを検討してまいります。</p>
	<p>国営木曾三川公園整備・管理運営プログラムだけではわからない。SDGs とかの意味や取り組み内容とかを、公園の催しもの際、SNSなどで説明があるといいとおもいました。</p>	<p>イベントや環境教育プログラム等の実施に際しては SDGs 達成との関りや意義について、参加募集時のパンフレットや SNS での案内などを通じて積極的に発信してまいります。</p>